

○事業所名	ウィズ発達支援センター 児童発達		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「ウィズに行きたい!」と思い、登園して下さるお子さんが多いこと。	・一人ひとりに着目し、療育・支援を行っています。 ・「できた!」に着目することで、肯定的に伝える支援をしています。	・お子さん一人ひとりを知り、お子さんに合った支援を今後目指します。 ・スタッフ自身のスキルアップをしています。
2	・連絡ノートや情報ツール、参観・面談等でお子さんの様子や活動内容等を発信し情報を共有、保護者の皆様と成長を喜び合うことが出来ること。	・少人数での療育（朝の会）、活動の様子を連絡ノートや情報ツールでご家庭にお知らせしています。また、朝の会の参観・面談・モニタリングを定期的実施、併せておうちの方との「おしゃべり」を大切にすることを意識しています。	・連絡ノートや情報ツール、参観・面談はもちろん、保護者の方との関わりを大切にしながら、今後もお子さんの成長を共に見守っていきたくと思っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・基準は満たしていますが、スペースが充分とは言えない場所での活動。 ・事業所が建物の2階にあるため、利用を希望するお子さんが限られてしまうこと。	・建物の構造上、活動スペースを広くすることは難しく、2階スペースを使つての療育・支援は現状維持となります。	・活動の内容により室内の環境を整えたり、戸外または他施設をお借りしての活動に加え、地域での社会体験活動を取り入れるなどの工夫を今後も検討します。 ・活動のための新規利用施設の開拓をします。
2	・保護者同士の交流の場が少ない。	・保護者会と放課後等デイサービスの説明会を行っていますが、年1回の開催のため、参加していただいている方に偏りが見られたり、参加が難しいご家庭は集うことが難しい状況です。	・お仕事をされている方、また、お父様の参加も視野に入れ、開催回数、日時・場所等の検討をしています。
3	・地域の保育園・幼稚園、他事業所との交流がない。	・保育園・幼稚園を併用しているお子さんが大半を占めておりニーズが少ないため、現在は見合わせています。	・地域園・他事業所との交流はもちろん、職員が仲介しながら集団での学びや経験をする有意義な時間と考えられるため、今後、検討していきます。